

第 118 回 金属物性研究会 —材料解析の新しい展開—

材料解析においてエックス線，電子線，中性子線等は非常に重要な解析手法である。最近では SEM を用いた EBSP により材料の集合組織が誰でも簡単に得られるようになった。しかしマルテンサイトなど非常に微細な組織解析にはさらなる測定の空間分解能の向上が求められている。また応力下，高温下での組織解析など多くの研究者から多岐にわたる要求が挙げられている。本研究会ではこのような背景から，測定試料の工夫や，引張，高温下での組織解析，TEM を用いた EBSP 測定装置をはじめ，実際の解析事例について 2 件のご講演をいただきます。また午後からは第 28 回若手フォーラムも同室で開催されますので併せてご参加下さい。

主 催 日本金属学会・日本鉄鋼協会中国四国支部

日 時 2014 年 2 月 21 日 (金) 10:00 ~ 12:05

場 所 岡山国際交流センター3 階研修室 (<http://www.opief.or.jp/oicenter/>)

1. 開催の挨拶 (岡山大学 竹元嘉利)

10:00~10:05

2. 研究会

10:05~11:00 座長 広島大学 市川貴之

① 「電子顕微鏡による鋼中微細組織解析の現状」

JFE スチール(株) スチール研究所主任研究員 山田克美氏

11:05~11:10 休 憩

11:10~12:05 座長 JFE スチール 長谷川浩平

② 「材料組織解析における EBSD 法の新たな展開」

(株)TSL ソリューションズ 鈴木清一氏

参加申込 当日参加可

参加費 無料

世話人 竹元嘉利 (岡山大学)，長谷川浩平 (JFE スチール)，市川貴之 (広島大学)

申込・問合せ先 岡山大学工学部 竹元嘉利

Tel 086-251-8027, FAX 086-251-8266

E-mail: takemoto@mech.okayama-u.ac.jp